

項目番号	項目名	委員名	委員意見	東京都回答
全体	-	青山委員	研究開発については、いくつか指摘されているなかで、「メディカルヘルスケア」技術分野の成長が大きく期待されると考えられる。ロボット支援技術とも連携した研究開発が望まれる。	メディカルヘルスケア的な視点では現在ヘルスケア産業支援室を開設し支援を実施しているところでございます。ロボット支援技術との連携については今後検討させていただきます。
		青山委員	ポストコロナの社会状況変化に応じて、オンラインによる技術相談、海外支援の強化が望まれる。	デジタル化・オンライン化については一層推進するよう評価に記載いたします。
		藤竿委員	3ページ目、YOUTUBEをYou Tubeに	ご指摘のとおり修正させていただきました。
2	共同研究	青山委員	プラスチック代替素材の開発とその応用は、SDGs 貢献の観点からも重要であり、このことを明記すべきではないか。	ご指摘のとおり修正させていただきました。
4	ロボット産業活性化事業	青山委員	ロボットを含めた非接触技術の必要性が増すことについて、「今後推定されるポストコロナ社会のニーズに応じて」と追記したほうが良いのではないか。	ご指摘のとおり修正させていただきました。
6	技術相談	青山委員	オンラインによる非対面・遠隔相談の機能アップが望まれる。	デジタル化・オンライン化については一層推進するよう評価に記載いたします。
9	3Dものづくりセクター	青山委員	3D造形技術の分野は、技術進歩が急速であり、今後も、設備の更新や技術研究レベルの向上を特に注力してつとめる必要があるのではないか。	ご指摘の件を評価に追記いたします。
13	製品開発支援ラボ	青山委員	大型の支援事業の獲得へ向けた注力が望まれる。	今後も企業が大きく成長できるよう支援していく旨記載いたします。
		大橋委員	評価はAでよろしいかと思いますが、昨今の状況等踏まえたと例えば多摩テクノプラザなど2019年度より増加している見込みについては、慎重に検討する必要があるかと思えます。	2020年度の見込みは3期の平均で算出しており、2019年度より増加しています。2020年度はすでに5室が満室となっていることから、2020年度見込みも達成できると考えております。
14	実証試験セクター	青山委員	利用実績の年度ごとの推移をみると、減少傾向も認められ、利用実績の質の維持をしながら実績の向上に注力する必要があるのではないか。	利用実績の減少は実証試験セクターの主要機器である「恒温恒湿槽」の大規模リニューアルによるところが大きいです。今後は実績も伸びていくと推定しています。
17	海外展開技術支援	青山委員	海外展開技術支援の拠点としてバンコク支所の活動を評価しているが、支所設置の費用対効果を評価し、オンラインによる遠隔支援・バーチャル支所の導入などを検討することにより、バンコク以外のアジア圏を中心としたオンライン海外支援拠点の構築も検討するべきではないか。	第4期中期目標期間中に産技研とともに検討させていただきます。
22	組織体制及び運営、効率化、経費削減	大橋委員	年度評価がC、中期目標期間見込Bでよろしいかと思えます。課題等については、最終年度で改善できる見込みであるという理解をしております。	-